

# PIEGA User Manual

## PIEGA PS1 / PS2 Active-Subwoofer

**PIEGA**  
S W I T Z E R L A N D

**“音楽を奏でる”、それはスピーカーシステムに課せられた  
唯一の真なる命題です**

我々が考える優れたスピーカーシステムとは、音楽とリスナーとのふれあいを妨げないものです。スピーカーシステム自体が独自の音を加えないもの。それは、正確に、そして、自然に、コンサートやレコーディングスタジオで演奏されたものをリスナーのもとへ運びます。1986年以降、我々はこの理想を現実のものへ仕上げるために最善を尽くして参りました - それには開拓者的な精神、創作力と厳しい技巧が必要なのです。

この度はPIEGAのスピーカーシステムをお選びいただきまして誠にありがとうございます。本製品は、我々の20年間に及ぶ研究開発、そしてデザインに関する最高水準の技術を具現化した製品です。我々は、この新しいPIEGAスピーカーシステムをお使いいただくことで、お客様が音楽を聴く喜びを享受されることを切に願います。

ご使用になられる前に本取扱説明書をお読みください。

スピーカーは重量もあり、また、非常にデリケートな製品です。開梱やセッティングをされる場合には、十分お気を付けください。

**PIEGA SA - Horgen, Switzerland**

## 目次

本取扱説明書では、PIEGA PS1/PS2アクティブサブウーファーを、お手持ちのオーディオ、またAVシステムへ組み込む際の設置方法を記載しております。記述に従ってセットアップを行うことで、通常の2chオーディオシステムや5.1chなどのサラウンドシステム内でPS1/PS2が最適な動作を行えるようになります。

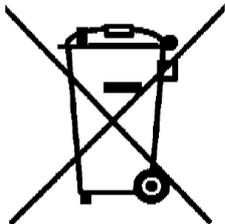
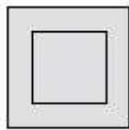
ご使用前に	4
PS1/PS2の取り出し方法	5
設置方法	6
接続方法	7
設定	8
各種設定	11
日常の使用について	12
テクニカルデータ	13

## ご使用前に

本取扱説明書をよくお読みいただき、以下の点にご注意ください。PIEGA PS1/PS2をインストールするときには、必ず以下の手順をお守りください。



CONFORMS TO  
UL STD. 6500  
CERTIFIED TO  
CAN/CSA STD. E60065



### 安全注意事項/警告：

- PIEGA PS1/PS2サブウーファーは、PIEGA社のスピーカー製品をはじめ、他社のスピーカー製品と組み合わせることが可能です。
- 実際に電源を入れる前に、PS1/PS2がこの取扱説明書通りに設置され接続されている事をお確かめください。
- この製品は、乾燥した10°C～40°Cの温度範囲の室内でのご使用をお願いいたします。
- 感電の恐れを避けるため、カバー（又は背面パネル）を外さないでください。資格を有する専門業者以外は内部の点検、修理をしないでください。
- 本体を電源から完全に切断するには、ACプラグを壁コンセントから引き抜いてください。本体をセッティングするには、背面のACアウトレット近くにある電圧切り替えSWが、御使用になるAC電圧に近い数値のほうへ切り替えられていることをご確認ください。

### リサイクリングについて：

- 本製品の梱包材はリサイクル/再生利用が可能です。お住まいの地域のルールに従ってリサイクルにご協力ください。
- 機器本体を破棄する際も、お住まいの地域の規定に従い、破棄をお願いします。

## PS1 /PS2の取り出し方法

輸送時のダメージを防ぐために、PS1 /PS2には厳重な梱包が為されています。装置本体を梱包から取り出す際に、あらゆる損害から守るために下記の指示に従ってください。

### 手順：

開梱する前に、時計、指輪、ブレスレット等の貴金属を外してください。アルミニウム製の本体を傷つける恐れがあります。

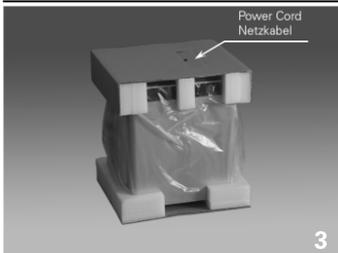
※ 写真はPS1 となります



- 上部のふたを開けて付属品を取り出し、保護クッションを取り外します。



- 上部のふたが開いたまま、本体を180度逆さまにし、保護クッションの上に設置します。



- 上部の保護クッションとそこに梱包されているケーブルを取り出します。



- 保護カバーを外し、PS1 /PS2が輸送時に損傷を受けていないことをご確認ください。

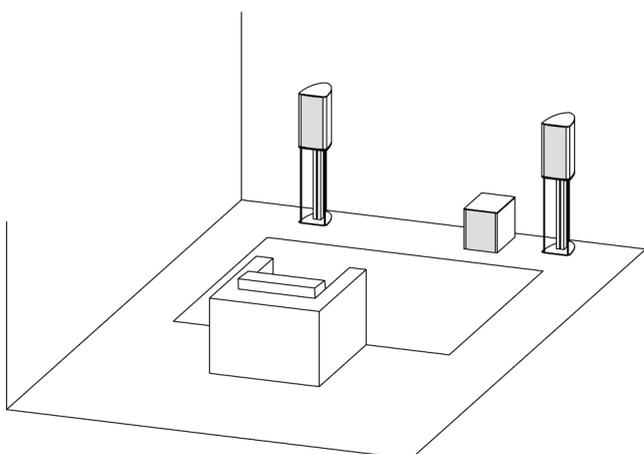


- PS1 /PS2をお好みの場所に設置してください。

## インストール方法

PS1/PS2はコンパクトなサイズですので、簡単にお部屋のどこにでも設置可能です。より豊かで自然な音場を構築するには、PS1/PS2を2つのメインスピーカーに近接させ、なるべくしっかりした床に置かれる事をおすすめします。

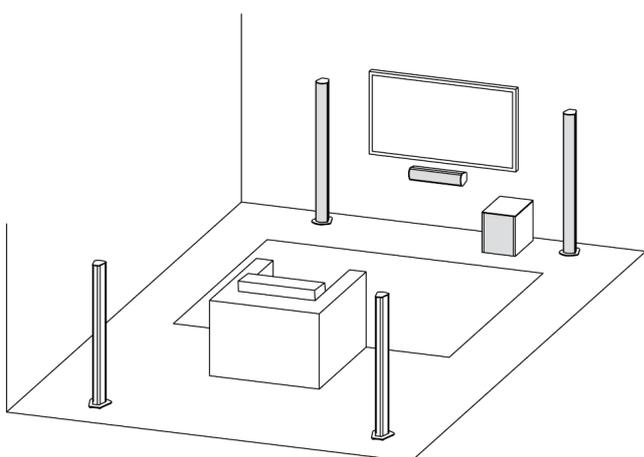
### ステレオモード



### 設置場所：

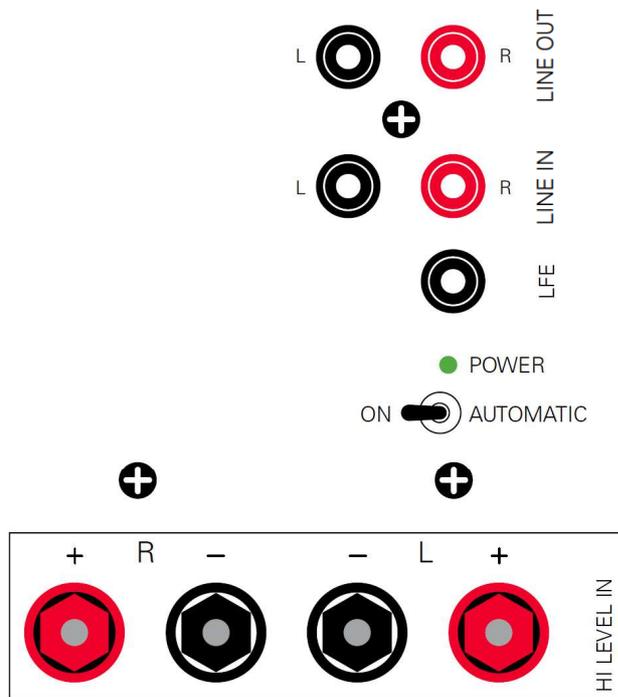
- ステレオ2chモード、サラウンドモードに関わらず、できるだけ前方2本のメインスピーカーに近い位置に、PS1/PS2を置いてください。
- PS1/PS2の接続端子は壁向きにしてください。
- 再生される低音は本体より下向きに放射されます。壁から必要なクリアランスは、約30cmとごくわずかです。
- PS1/PS2の周囲にはなるべく物を置かないでください。
- 危険防止のため、本体の上に花瓶などを置かないでください。内部に水分が入ってしまった場合、故障の要因になることがあります。

### サラウンドモード



## 接続方法

PS1/PS2は多彩な接続方法が可能です。お客様のシステムに応じて該当箇所を参考にして接続を行ってください。

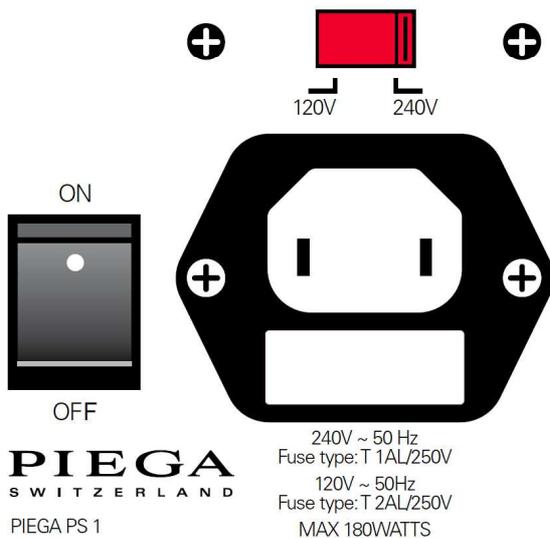


### 注意：

- PS1/PS2の接続ターミナルには、ステレオおよびサラウンドモードにおいて考えられるいくつかの接続端子があります。
- ご使用になるシステム構成に従って、該当する箇所を次項から選択してご参照ください。
- LFE/IN、INPUT、OUTPUT端子は、RCAピンプラグで端末処理されたケーブルを接続します。
- HIGH LEVEL INPUT端子は、先バラのSPケーブルや、Yラグ、バナナプラグで端末処理されたSPケーブルを接続します。

### 電源ケーブルの接続に関する注意点：

- 日本国内で使用する場合は、電圧切り替えSW(240/120 V)が120Vの位置になっていることを確認してください。
- すべてのケーブルの接続が完了するまで、電源SWをONにしないでください。

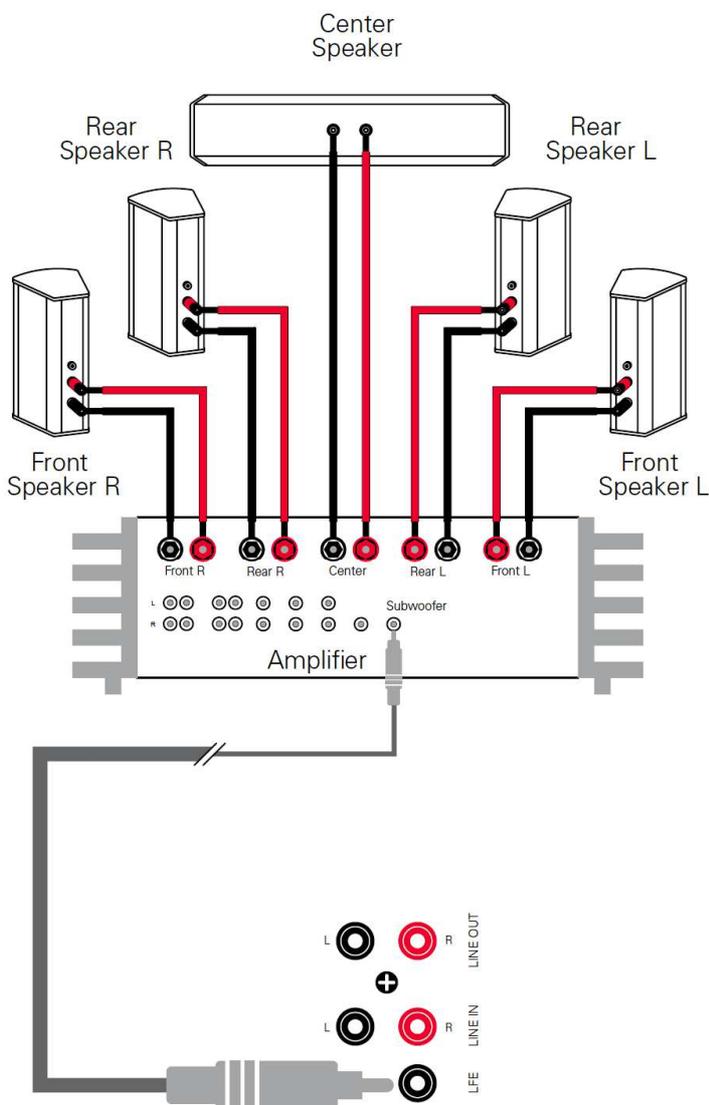


**PIEGA**  
SWITZERLAND  
PIEGA PS 1

## 接続方法

5.1chなどの各種サラウンドモードで音声を楽しむ際には、AVアンプからのLFE出力をPS1/PS2へ入力します。この場合、低音のクロスオーバー周波数の設定はAVアンプで行いますので、PS1/PS2のLOW PASS設定は無効となります（13ページ参照）。

### <AVアンプを使用したサラウンドシステムの例>



#### 接続：

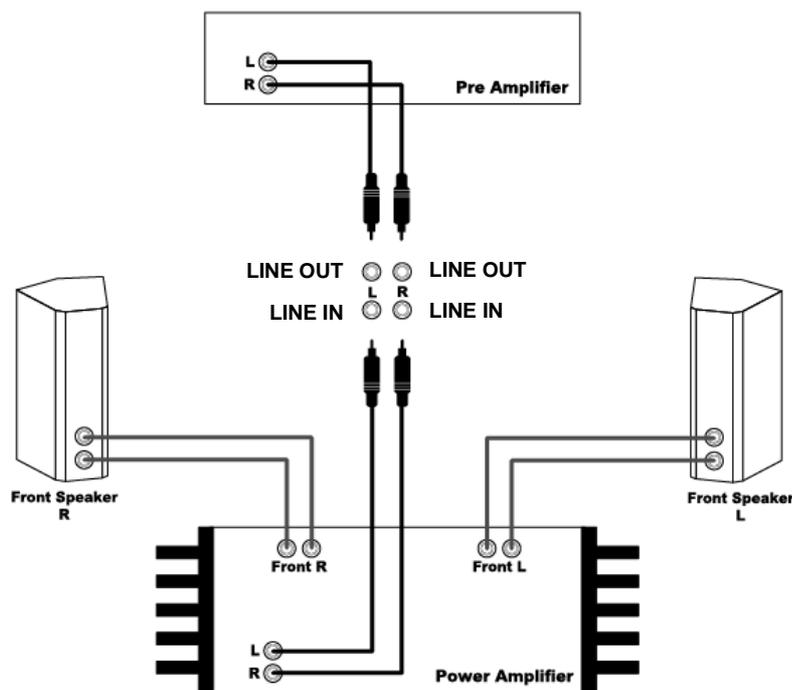
- PS1/PS2のLFE/IN端子とAVアンプのLFE、SUBWOOFERなどと記載された出力端子とをRCAピンケーブルで接続してください。
- front/rear/centerの各スピーカーとAVアンプとをSPケーブルで接続してください。

## 接続方法

プリアンプもしくは、pre-out端子が備わっているプリメインアンプとは、pre-out端子経由でPS1/PS2の「LINE IN」に接続することができます。この場合は、LFE出力のように信号に対して高域がカットされていませんので、PS1/PS2のLOWPASSノブで再生上限周波数を調整しなければなりません。

PS2には、HIGHPASSスイッチが用意されております。HIGHPASSスイッチはLINE OUT出力の低域をカットするためのスイッチです。これによってメインSPの低域負担を減らすことができますので、より明晰な低音を得ることができます。メインスピーカーのサイズに応じて60/80/100Hzをお選びください。

### <プリアンプ・パワーアンプを使用したステレオシステムの例>



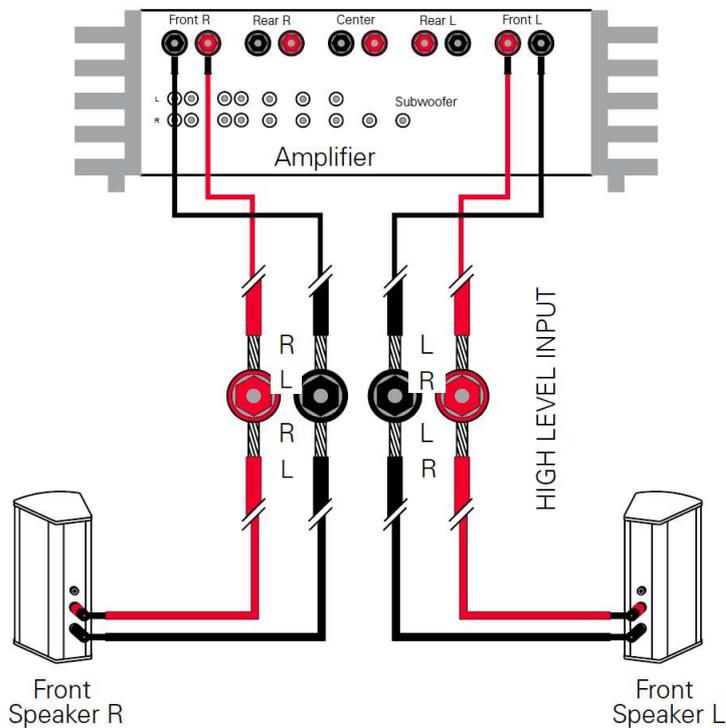
#### 接続：

- PS1/PS2のLINE IN端子とプリアンプのPREOUTと記載された出力端子とをRCAピンケーブルで接続してください。
- PS1/PS2のLINE OUT端子とパワーアンプのLINE IN端子とをRCAピンケーブルで接続してください。

## 接続方法

プリメインアンプやレシーバーなどで、PRE-OUT端子を持たない装置の場合は、SPケーブルをHI LEVEL INPUT端子へ接続することでPS1/PS2をシステムに組み込むことができます。詳細な接続方法については、お手持ちのアンプ付属のマニュアルを参照してください。

### <スピーカー端子を使用したステレオシステム>

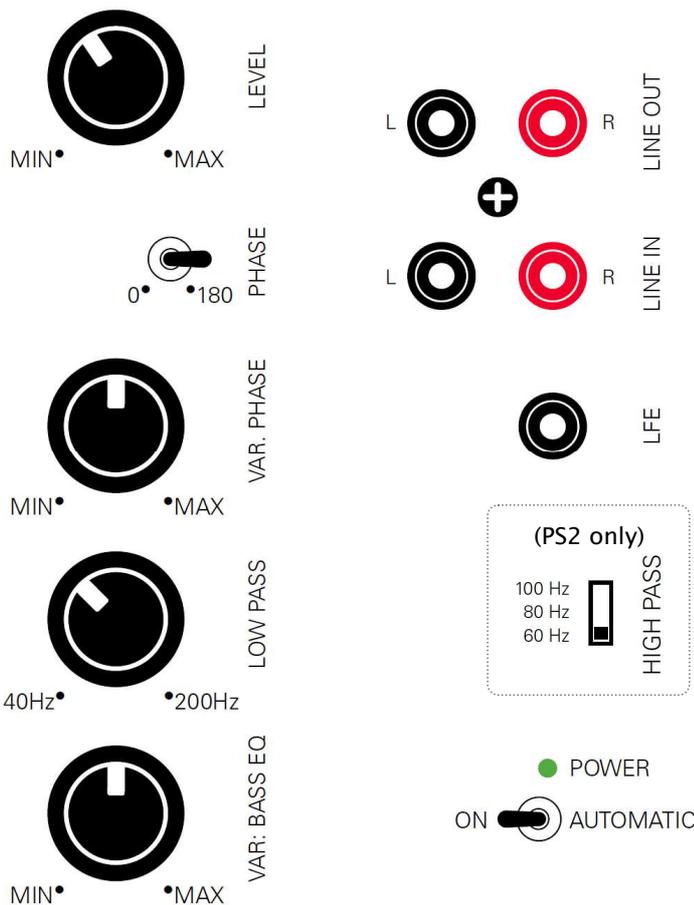


### 接続：

- PS1/PS2のHI LEVEL INPUT端子へお手持ちのアンプからのSPケーブルとメインSPへのSPケーブルを接続します。

## 設定

各種つまみやSWを適切に設定することで、PS1/PS2の実力をシステム構成に応じて発揮させることが出来ます。



### LEVEL :

- PS1/PS2の音量を調節します。

### PHASE :

- PS1/PS2の再生位相を連続的に可変するときには使用します(VAR. PHASEノブと併用)。使用するメインスピーカーや設置位置に応じて、より自然な低音再生が得られるように調整します。

### VAR. PHASE :

- MIN: 1°
- MAX: ~179°

### LOW PASS :

- PS1/PS2の高域再生限界周波数を調整します(40Hz-200Hz)。使用するメインスピーカーや設置位置に応じて、より自然な低音再生が得られるように調整します。
- LFE入力時には、このノブは機能しません(9ページ参照)。

### VAR BASS EQ :

- 低音の効き具合を調整する時に使用します。  
MIN: ドライ、シャープ、新鮮な音  
MAX: 暖かい、ソフト、豊かな音

### POWER :

- 消灯: 電源が入っていません。
- 赤く点灯: 電源が入っていて、スタンバイの状態。
- 緑に点灯: 電源が入っていて、アクティブの状態。

### AUTOMATIC :

- このSWがAUTOMATICの位置にあるときは、入力信号の有無で、自動的にPS1/PS2の状態がスタンバイ/アクティブに切替わります。(約15分間の無信号で自動的にスタンバイとなり、再び信号が入力されるとアクティブになります)
- このSWがONの位置にあるときは、AUTO POWERはオフとなります。

### HIGHPASS (PS2 only)

- HIGH PASSスイッチは、LINE OUT出力の低域をカットするためのスイッチです。これによってメインSPの低域負担を減らすことが出来ますので、より明晰な低音を得ることが出来ます。
- メインSPのサイズに応じて、60/80/100Hzを選んでください。

## 日常の使用について

PS1/PS2の外装仕上げはポリッシュドアルミニウム製です。乱雑な扱いをすると容易に傷などがついてしまいますので、十分に注意をして取り扱ってください。



### 日常のお手入れについて：

- 糸くずの出ない柔らかい布などで、PS1/PS2の表面をきれいにしてください。
- アルコールや溶剤などを使用して表面の汚れを落とすことは絶対にやめてください。
- 汚れてしまったときなどは、必要に応じて、ぬるま湯と2、3滴の中性洗剤を使用した溶液で湿った布を使って、ふき取りを行ってください。



### 保証について：

PS1/PS2の内部電子機器に触れることは絶対におやめください！！

本製品の無償保証期間はご購入日から2年間ですが、以下の場合には保証の対象にはなりませんのでご注意ください。

- 1) ご使用上の誤り、お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる損傷、自然災害などによる損傷
- 2) シリアル番号が変更されている、もしくは無い場合
- 3) 取扱説明書、保証書に記載されている範囲外の操作が行われた場合
- 4) 不当な修理や改造を行った場合

<テクニカルデータ<バスレフ型アクティブサブウーファー>

PS1

アンプ出力 250W

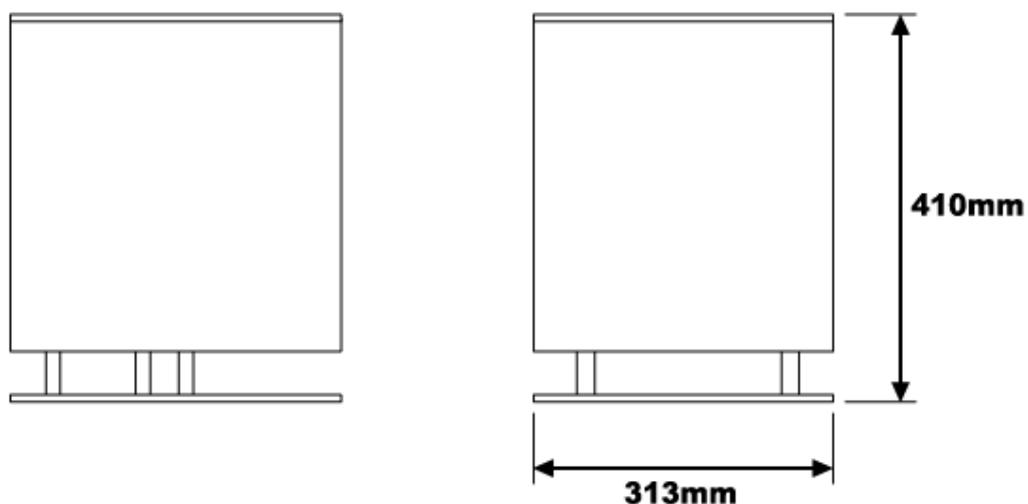
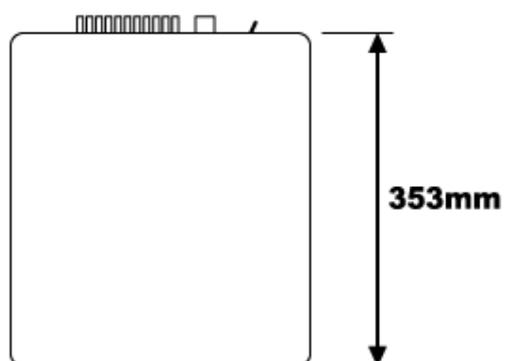
周波数特性 24Hz-140Hz, -3dB/連続可変

仕様ユニット 1 x 22cm LDB-XL ウーファー (アクティブ)

サイズ H410 x W313 x D353mm

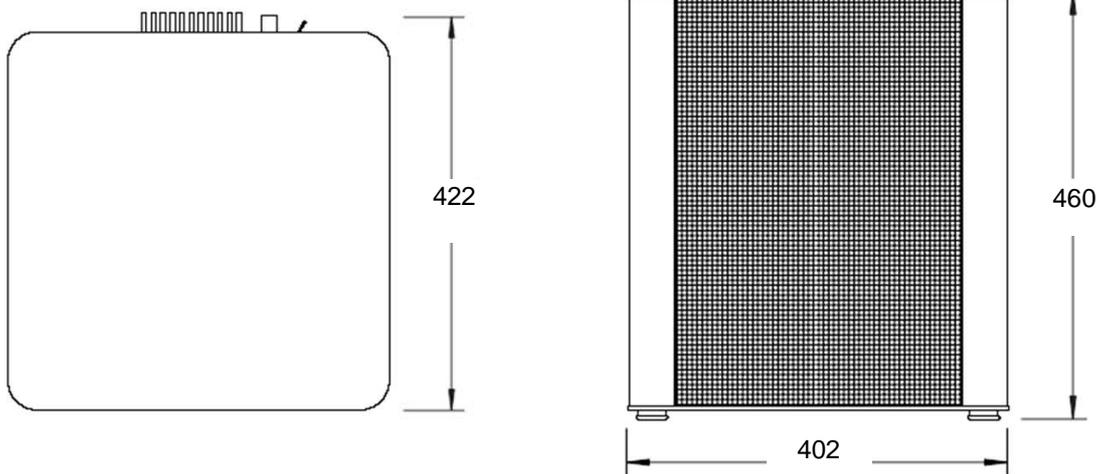
重量 17kg

キャビネット ポリッシュドアルミニウムキャビネット



## PS2

アンプ出力	500W
周波数特性	24Hz-140Hz, -3dB/連続可変
仕様ユニット	26cm LDB-XL Bass ウーファー x 2 (アクティブ)
サイズ	H460 x W402 x D422mm
重量	43.6kg
キャビネット	ポリッシュドアルミニウムキャビネット



総輸入代理店  
有限会社フューレンコーディネート

フリーダイヤル： 0120-004884  
URL： <http://www.piega.jp/>